

むぎ公民館報

2025.3月~2025.8月 262号



優勝：河内連合



準優勝：西浦

分館親睦球技大会開催

令和七年度 牟岐町社会教育関係者名簿

公民館分館役員	出羽	分館長	本田	妙子	副分館長	和田	晃洋	主事	赤水	分館長	山田	高裕	副会長	杉本	一夫										
	副分館長	濱	美樹	主事	中村	淳子	横瀬	分館長	蔭谷	百合子	畑	賢次	読書友の会	委員長	葛谷	信也									
古牟岐	分館長	小島	英和	西第二	分館長	和田	源	副分館長	畑	賢次	上田	好美	上田	好美											
	副分館長	大竹	重喜	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	会長	大竹	茂	副会長	木本	千代子									
	主事	海部	太	主事	元木	奉文	副分館長	古波	直人	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好									
灘	主事	久保田	亮二	主事	和田	昌代	小松	分館長	岡崎	真一	副会長	木本	千代子	委員長	谷	和好									
	分館長	吉野	浩治	本町	分館長	谷本	純一	副分館長	兒戸	大佐	喜来	分館長	古谷	孝司	委員	一山	貴美								
東の東	主事	大喜田	正道	副分館長	丸岡	朗	主事	富田	光男	橘	分館長	吉川	博晃	副分館長	元内	甚一	葛谷	信也							
	分館長	福田	知行	上の町	分館長	前山	美登里	喜来	分館長	古谷	孝司	委員	一山	貴美	喜田	俊司	葛谷	信也							
東の中	副分館長	谷	誠治	杉王	分館長	平井	孝史	副分館長	元内	甚一	横尾	美智子	石橋	山河	スポーツ少年団	本部長	平井	孝史							
	分館長	竹本	道裕	副分館長	平野	竜平	館長	谷	和好	主事	青木	瑞貴	本部部長	岡本	美利	副会長	一山	貴美							
同倫	分館長	川村	一久	副分館長	新田	貴文	主事	青木	瑞貴	人権教育協議会	会長	藤元	雅文	副会長	石本	知恵子	谷野	秀樹							
	副分館長	小澤	和久	山田	分館長	新田	貴文	館長	谷	和好	主事	青木	瑞貴	本部部長	岡本	美利	副会長	一山	貴美						
東の西	分館長	大田	雄	主事	大平	綾	主事	青木	瑞貴	人権教育協議会	会長	藤元	雅文	副会長	石本	知恵子	谷野	秀樹	中山	昌之					
	副分館長	大田	陽子	大谷	分館長	原	忠輝	人権教育協議会	会長	藤元	雅文	副会長	石本	知恵子	谷野	秀樹	中山	昌之	青少年健全育成協議会	会長	横尾	浩紀			
天神前	主事	福田	健治	副分館長	小栗	泰子	副会長	石本	知恵子	谷野	秀樹	中山	昌之	青少年健全育成協議会	会長	横尾	浩紀	牟岐町婦人会	会長	石本	知恵子				
	分館長	家中	伴樹	内妻	分館長	久保	義和	副会長	石本	知恵子	谷野	秀樹	中山	昌之	青少年健全育成協議会	会長	横尾	浩紀	牟岐町婦人会	会長	石本	知恵子			
川長	副分館長	一山	昌之	副分館長	和田	洋希	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	読書友の会	委員長	大竹	茂	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好	
	分館長	松矢	みゆき	主事	白木	雄祐	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	読書友の会	委員長	大竹	茂	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好	
	副分館長	和田	龍司	清水	分館長	石上	敬介	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	読書友の会	委員長	大竹	茂	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好
中の島	主事	湊	章道	副分館長	岡本	勉	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	読書友の会	委員長	大竹	茂	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好	
	分館長	横尾	政明	副分館長	和田	龍輔	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	読書友の会	委員長	大竹	茂	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好	
西第一	副分館長	居村	伸二	川又	分館長	百々	史存	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	読書友の会	委員長	大竹	茂	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好
	分館長	岩本	朋	平野	分館長	池内	龍	副分館長	和田	龍輔	辺川	分館長	横尾	敦	読書友の会	委員長	大竹	茂	副会長	木本	千代子	スポーツ推進委員	委員長	谷	和好

牟岐の子どもを育てる会

代表世話人 葛谷 信也

副会長 石本知恵子

(令和七年八月三十一日時点)

12年目をむかえた市宇ヶ丘学園

市宇ヶ丘学園だより 第20号

令和7年8月現在で、保育園児39人・小学生81人・中学生39人が在籍しています。今年度前半も、地域の方々のご協力を得ながら、年代に応じた様々な活動を実践することができました。伝統的な行事を大切にしつつ、新たな活動にも挑戦しています。これまでの活動の様子を紹介します。



海部老人ホーム訪問

今年度は、年長・年中児が訪問しました。各年齢ごとに歌を披露すると、温かい手拍子や拍手をしてくださいました。最後に、「茶摘み」の歌に合わせ、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に手を合わせながら楽しい時間を過ごしました。



英語であそぼう

年中児が、デイナー先生に英語の手遊び歌「Head, Shoulders, Knees & Toes」をやさしく教えていただきました。英語の発音を真似ながら、楽しく遊ぶことができました。



夏まつり

今年は「とんま連」さんをお招きし、夏まつりのオープニングを飾っていただきました。踊りを見た後は、子どもたちも鳴り物に合わせ、とんま連さんたちと一緒に輪になって踊りました。



小学校2年生 砂の造形遊び

夏休みの登校日に松ヶ磯で、1, 2年生合同の造形遊びを行いました。子どもたちは友達と声をかけ合いながら、楽しそうに活動していました。海水や砂、石など自然の素材を使いながら、それぞれのアイデアを形にしていくなかで、とても印象的でした。



小学校4年生 勇太鼓体験

勇太鼓保存会のみなさんに勇太鼓の拍子やたたき方を教えていただきました。調子のよい和太鼓のリズムに心をはずませ、いきいきと演奏に挑戦しました。和太鼓の演奏は多くの児童が初めてで、地域の先輩に学び、地域の伝統に触れる貴重な体験になりました。



小学校6年生 大島スノーケリング体験

夏休み登校日に、海洋教育、また町の魅力再発見のための活動として、地域おこし協力隊の方々のガイドのもと、大島でのスノーケリングを行いました。さまざまな種類の魚や三百年サングが観察でき、子どもたちは牟岐の海の豊かさを再確認できました。



小中合同運動会

1年生にとっては、中学生として迎える初めての小中合同運動会でした。それぞれの役目をしっかり果たしながら、思う存分楽しむことができていました。



職場体験学習

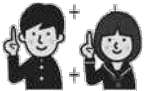
地域の方々のご協力のもと、中学2年生が7月に職場体験学習を行いました。2日間の体験を通して、働くことの楽しさや大変さを味わうことができました。



キャリア教育～ドローンについて～

中学3年生がキャリア教育の一環として、ドローンについて学びました。ドローンの基本的知識やドローンビジネスについて知ることができました。

中学校弁論大会



差別をなくし、

笑顔を増やすために

牟岐中学校 一年

笹田 想希美

皆さんは「差別」という言葉を聞いて、どのような場面を思い浮かべますか。

私が小学校四年生のとき、一人で下校をしていると、前に八十歳くらいの女性が歩いていました。その女性はなにか困っている様子でした。しばらくその様子を見ていると、女性は前を歩いていった成人男性二人に声をかけました。

「私の家はどこですか。」

思ってもみない言葉が聞こえて、私は困惑しました。

すると男性は

「そんなの知るかよ。覚えとけよ。」

と、冷たい言葉をかけて、女性の目を見ずに歩いて行きました。女性はどこか悲しそう

な顔をしていましたが、その時の私は女性にどう接しているのか、どう声をかけたらいいのか分からず、その場でその光景をただ見ているだけでした。この時、皆さんが私や男性の立場ならどう女性に返答したでしょうか。その女性に返す適切な言葉をすぐに思いつきますか。男性に何か言えよよかったのでしょうか。女性の家を一緒に探せばよかったのでしょうか。三年経った今でも、その場面をふと思い出し、あの時どうすればよかったのだらうとモヤモヤしてしまいます。男性はどのようなことを思っ女性にそのような言葉を投げかけたのでしょうか。面倒くさい、高齢者と接したくない。そういう考えが少なくともあったのではないのでしょうか。こういった高齢者への差別は、日常生活の中でも多く存在します。たとえば、買い物

で支払いをする時、目の見えにくい高齢者の方は、小銭を取り出すのに手間取ってしまいます。そうすると、後ろに並んでいる人から暴言を吐かれたり、高齢者だからと雑に扱われたり、わざと声を小さくして接客されたりすることがあるそうです。また、高齢者は何もできないと思われ、転職を断られるなど、高齢者だからという理由で差別を受けることがあるそうです。

私も、初対面の人を見た目や雰囲気、話し方でその人がどういう人なのかをよく知らないまま判断してしまうことがあります。実際に接してみると、その人は自分が想像していたような人ではなかったということも少なくありません。皆さんも一度はそういった経験があるのではないのでしょうか。

そういった思い違いや苦手意識を、自分の考えだけで一方的に人にぶつけてしまうと差別が生まれてしまいます。人に苦手意識を持つことは誰

だってあると思います。それは人として生きていく上でも大事なことの一つです。たとえ苦手意識を持っていたとしても、その人に声をかけてみたり、遊びに誘ってみたりすると意外な一面が見えてきて「この人はこんな人だったんだな。」と、新しい発見があるかもしれません。自分の思い込みだけで物事を判断するのではなく、「でも」、「もしかしたら」という考えを持つて生活するのが大切だと思います。

今、私たちが暮らしている社会には、高齢者の他にも、障がいや性別、人種などを理由に差別されている人がいます。そのような差別を少しでもなくしていけるように「私には差別は関係ない。」「僕は差別に関わっていないから大丈夫。」と考えずに、加害者、被害者、傍観者、それぞれの立場で考え、行動することが大切だと思います。そうすることで救われる人や自分している差別に気づくことがで

きるのではないのでしょうか。これからはどのような立場であっても、自分の行動を客観的に見て、考え直してみてもいいです。

私も、これから初対面の人と接するときや、誰かが困っている場面に遭遇したときは、自分から声をかけ、相手の立場に寄り添った行動を心がけていきたいです。そうすることで、差別されている人や、私と関わってくれている人に少しでも笑顔が増えればいいと思います。皆さん一人一人の行動で世界が明るく、より楽しくなると 생각합니다。

ご清聴ありがとうございます。



『何気ない言葉かけ』

について見直そう

牟岐中学校 三年

柘田 蒼空

突然ですが、みなさんは、今の自分の言葉遣いに胸を張ることができるか。

最近、何気ない言葉で人を傷つけてしまっている人が増えていると私は感じます。「ばか」や「あほ」、「死ね」などが言っではいけない言葉であることは、すでにわかっていると思います。ここで、私がみなさんに伝えたいのは『何気ない言葉』で人を傷つけてしまっている」ということです。

先日、友だちと部活動の話をしていたとき、「おまえ、ベンチやろ。」と言われまして。おそらく面白がつて、つっこみのように言ってきた何気ない言葉だったのかもしれないが、その言葉に私は腹が立ちました。

私は野球部に入っていました

た。私は、生まれつき目が悪く、野球はあまり向いていないスポーツです。でも、野球が好きで、野球部を選んだことに後悔したことはありません。

少しでもうまくなろうと休みの日に自主練習をしたり、陸上の朝練に参加したり、約9 km離れた家から学校までを自転車を通ったりしました。そして、少しずつ試合に出られるようになりました。出た試合でエラーをして、ピンチを招いたり、負けた。試合に出られる時間は、私にとってうれしい時間でした。結局、最後の大会までレギュラーにはなれず、南部Aブロック総体で、引退しました。このように、私なりに努力をしてきた部活動です。もちろん、レギュラーの人も野球が好きで、いろんな努力をしてきてレギュラーを勝ち取っているの、「レギュラーだからっていばるなよ」というふうには思いません。しかし、「おまえ、ベンチやろ。」

という言葉で、私のやってきたことが無駄だったかのよう

に思え、悲しくなったことをその人には知ってほしいです。次に、私自身の言葉について振り返ってみました。すると、私の何気ない言葉で、相手を傷つけていることに気がつきました。例えば、「なんで怒っ

のような「何気ない言葉」で相手を傷つけた経験はないでしょうか？

このことを改善するためには、やはり「相手の立場を思いやった言葉かけ」が大切です。自分の発した言葉で、相手がどう思うかは、正確に当てる事は絶対にできません。しかし、相手がどう受け取るかを想像することはできると

な人は、その恥ずかしさを乗り越えて、ぜひ「ありがとう」という言葉を使ってみてほしいです。言われた人はうれしいし、言った人も心が温かくなります。また、「ありがとう」という言葉には、人間関係を良くしたり、コミュニケーションをしやすくなったりする力があると思います。私は、これからも「ありがとう」という言葉をたくさん使いたいし、使ってもらえるような行動をしていきたいです。

最後に、一人一人が相手の立場を思いやった言葉かけをすることで、けんかやいじめだけでなく、言葉によって傷つく人が減っていくと思います。また、「ありがとう」など、感謝を伝える言葉で、人をうれし気持ちにさせることもできます。私の、そしてみなさんの、相手の立場を思いやった言葉かけで素敵な社会にしていきたいです。

ご清聴ありがとうございます。

シラタマ学級報告



☆令和7年3月26日(水)

牟岐町の慰霊踊りをのこしていこう。

子供達に慰霊踊りに興味と関心をもってもらうため、四国大学と協力してデジタル技術を活用し、着物の柄をデザインする体験をしました。



☆令和7年4月18日(金)

サンドブラスト体験

『牟岐あんどんの会 ^{あかり} 娃娃哩』の皆様の指導のもと透明のガラスコップの表面を専用の機械で削ることで表面に模様をつけました。



☆令和7年5月24日(土)

花炭と松ぼっくりの鶴を作ろう

落ち葉や枯れ枝から炭を作りました。また、松ぼっくりを使った簡単な模型作りをしました。



☆令和7年6月28日(土)

ビーチコーミング



牟岐町の地域おこし協力隊の方が講師となり、事前に拾い集めていた海岸のゴミを水で洗ってから粉碎し、キーホルダーを作りました。



☆令和7年7月12日(土)

牟岐和紙の手漉き体験！

原料となる牛乳パックを水で濡らし軟らかくしてから、型版にはめて乾燥させることで和紙をつくりました。また今回は竹を使った木工体験も実施しました。



☆令和7年8月20日(水)

ものづくり体験
+ピザづくり体験ワークショップ

徳島大学理工学部あうとの学生による『建築サークルAUT』の皆様が講師となり、午前中は木工教室、午後から会場を移動してピザ窯を使ったピザづくりを実施しました。





公民館分館親睦球技大会



公民館分館親睦ソフトボール大会

【1日目：令和7年7月7日（月）／2日目：7月9日（水）】

旧牟岐小学校グラウンドで公民館分館親睦ソフトボール大会を開催し、昨年度と同様に「辺川・喜来・橘」、「河内連合」、「西浦」、その他の分館による「広域連合」の計4チームが出場しました。

「河内連合」対「西浦」の決勝戦では同点のまま制限時間が経過し、ルールにより両チームの代表者によるじゃんけん対決で「河内連合」が優勝しました。



※昨年度に続き分館親睦バレーボール大会は参加申込がありませんでしたので、今年度も実施できませんでした。来年度は是非ともご参加のほどよろしくお願いいたします。

「被爆八十年 同じ過ちを繰り返さないために」

「『平和への誓い』に込める 子どもたちの思い」

牟岐町人権教育協議会 葛谷 信也

「平和への誓い」

いつかはおとずれる、被爆者のいない世界。同じ過ちを繰り返さないために、多くの人が事実を知る必要があります。

原子爆弾が投下されたあの日のことを、思い浮かべたことはありませんか。

昭和二十年（一九四五年）八月六日 午前八時十五分。

この広島に人類初の原子爆弾が投下され、一瞬にして当たり前の日常が消えました。

誰なのかわからないくらい皮膚がたれた人々。涙とともに止まらない、絶望の声。

一発の原子爆弾は、多くの命を奪い、人々の人生を変えたのです。

被爆から八十年が経つ今、本当は辛くて、思い出したくない記憶を伝えてくださった被爆者の方々から、直接話を聞く機会は少なくなっています。

どんなに時が流れても、あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の

世代へ語り継いでいく使命が、私たちにはあります。

世界では、今もどこかで戦争が起きています。

大切な人を失い、生きることに絶望している人々がたくさんいます。

その事実を自分のこととして考え、平和について関心をもつこと。

多様性を認め、相手のことを理解しようとする。

一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、

傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはず。

周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないでしょう。

「One voice」

たとえ一つの声でも、学んだ事実を思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはず。

大人だけでなく、こどもである私たちも平和のために行動することが出来ます。

あの日の出来事を、ヒロシマの歴史を、二度と繰り返さないために、私たちが、

被爆者の方々の思いを語り継ぎ、一人一人の声を紡ぎながら、平和を創り上げていきます。

令和七年（二〇二五年）

八月六日

こども代表

広島市立皆実小学校

六年 関口千恵璃

広島市立祇園小学校

六年 佐々木駿

平成七年、被爆五十周年の平和記念式典で、初めて子ども代表が「平和への誓い」を述べました。

それは、この年に開かれた「子ども平和のつどい」で世界の子どもたちが話し合った結果を平和への決意として述べたものです。翌年以降もその成果を引き継ぎ「こどもピースサミット」として毎年開催され、三十年間平和への誓いを発信し続けてきました。

子どもピースサミットでは、広島市内百四十四校の小学校六年生約一万人の作文の中から、選考された二十人による意見発表会により、子ども代表二人が選ばれます。また、代表二人を含む、選出された二十人が平和への誓い検討会議のメンバーとなります。

検討会議の前には改めて広島平和資料館を訪れ、そこに記された当時の言葉や、映像や遺品から伝わる人々の思い、被爆者の生の声を探します。

検討会議ではそれぞれが感じ

た被爆の実相を言葉にしていきたいと思います。子どもたちが感じたのは被爆の惨状だけではなく、そこに居た被爆者の人生にも思いを馳せていきます。そして、たくさんさんの思いや気づきが書き込まれた付箋をもとに、「自分たちは未来に何ができるのか」をみんなで話し合い、自分たちの「平和への誓い」を考えていきます。

このようにして、自分と向き合って感じたことや、チームで話し合っただけで新しい気づきや整理され、代表二十人の子どもの平和への思いが込められたメッセージが出来上がっていきます。

そして、被爆八十年を迎えた今年、代表の二人によって自分たちの思いが込められたメッセージが「平和への誓い」として世界中に発信されました。

世界中の人に、あの日広島で起こったことを知ってもらいたい、小学校二年生の時から外国人に英語で伝える、平和ガイドを続けている代表の佐々木君は、検討会議の話し合いの中で、誓いの言葉の中に盛り込またい言葉があると、その思いをみんなに伝えました。

「例え一つの声でも真実に希望を込めて語れば世界に変化をもたらすことができる。あなたもこの一つの声によって世界を変えていきませんか。」という言葉です。

そして検討会議を終え、「メンバー二十人の平和に対しての思いや、戦争はよくないという思いがよく伝わったし、八月

六日に向けて日本だけでなく世界中にたくさんさんの思いを発信していきたい。」と語っていました。

同じく代表の関口さんは「子どもよりも大人はたくさんさんの知識を持っていて、でもその人たちがなんでこんな悲惨な戦争を引き起こしてしまったんだろう」ということは感じていました。

「だから、子どもだからできること。大人にはできないけど子どもだからこそできることを考えました。日本とかのスケールではなく、世界中からわくわくして語り、八月六日の平和記念式典では、堂々と平和の誓いを発信することができました。」

ロシアとウクライナの戦争をはじめ、世界の中では今も戦争や紛争が続いています。戦争は罪もない、未来ある子どもたちの生きる権利、大切な生命をも容赦なく奪ってしまう、最大の人権侵害です。

被爆八十年を迎え、被爆を経験した方々がだんだんと少なくなっていく中、この戦争で人類が犯した過ちが風化されることのないようこれからも語り継いでいかなければなりません。多くの人がこの事実と被爆者の思いを知り、平和への思いを強くしていかなければなりません。未来を担う子どもたちの声に、私たち大人は真剣に耳を傾け、私たち一人一人にできることを考え、実践していかなければならないのではないのでしょうか。

..... 公民館サークル紹介

牟岐音頭保存会

練習日 全員参加練習 5月～8月 毎週木曜日19時～
場所 浜の家
代表 角田 初 ☎0884-72-1072

牟岐町お盆の伝統行事として、その年に亡くなられ初盆を迎えられた、故人を弔い、偲ぶために約200年余り前から、各家の前、辻々で慰霊踊りが行われておりました。

これとは別に、文化3年、牟岐町の青木家に身を寄せていた、浪人が文章を長じ、芸能の才もあったところから、浄瑠璃から選択した物語を何題も作成したという記録が残っております。

その後、牟岐町東浦の、三味線師匠や、有志が前記記録に節付けして拍子木や合間をとって仕上げたものが今の牟岐音頭（浄瑠璃くずし）といわれております。（牟岐町指定無形文化財）（内容、牟岐町史参照）

この伝統ある牟岐音頭を伝承するために頑張っているのが、牟岐音頭保存会です。

音頭の役の構成は「音頭語り」「拍子木」「三味線」「拍子取」の4種類があり、それぞれ得意分野で活躍できます。冒頭練習日の他に初心者の方については、テープ、CDなど家庭で練習できるよう準備いたします。

音頭保存会の活動の場所は、コロナ禍から団体活動が禁止され、施設慰問等、活動場所が無くなっておりましたが、令和6年8月から牟岐慰霊踊りの会の方々が、慰霊踊りを復活させていただきました。今後も牟岐音頭保存会存続のため精進したいと思います。

皆さん200年余り前の語り（歌声）を学んでみませんか。



ブルーエコー

練習日 第2・第4木曜日 19時～
場所 海の総合文化センター
部長 藤元優子

私達は女声コーラスグループ、ブルーエコーです。約30年以上の歴史がある合唱団です。歌が大好きな仲間が集まって和気藹々とコーラスを楽しんでいます。コーラスはソプラノ、メゾソプラノ、アルトの三部に分かれて歌います。最初は他のパートにつられたり、音程やリズムがとれなかったり…と練習に苦労することもあると思います。でもみんなで励まし合い、楽譜と睨めっこしながら繰り返し練習し、全員の声が合わさって綺麗なハーモニーが生まれると、とっても嬉しくなります。

一人で歌うも良いのですが、仲間と一緒に切磋琢磨しながらハーモニーをつくりあげることが、格別の楽しさがあると思います。そして私達は合唱曲や童謡に限らず色々な年代の歌謡曲、そしてアカペラ（無伴奏）にも挑戦しています。私自身ブルーエコーに入って、歌のレパートリーが増えたのが嬉しいです。時には笑い話をしながら、仲間と一緒に心を合わせて歌うのはシンプルにとっても楽しいです。お腹から思いきり声を出して、ストレス発散＆リフレッシュしませんか？

初心者の方、大歓迎です。コーラスって難しそう…と私自身そう思っていた初心者でした。

お気軽に気楽に見学にいらしてください。是非お待ちしております。私達と一緒に楽しく歌いませんか？
 〈主な活動〉

文化の集い、敬老の集い、出羽島アート展、病院・老健施設訪問など。

全日本おかあさんコーラス徳島県大会に連続出場した経験があります。

YouTubeチャンネルがあります。「牟岐町ブルーエコー」で検索してみてください。



牟岐短歌会



義母の背の汗でくっつく 服脱がし

今同じこと 夫に頼めり

真夜中も 廻り続ける 秒針に

手を当て探る われの鼓動を

お地蔵さんの 赤い前垂れ まぶしめり

心を込めて 縫いし人あり

藤川 はやみ

どん底の 底にも穴が あるのさと

笑うはガザの 九十歳か

(短歌研究1月号・高野公彦選)

薬王寺の 厄除け坂を かるがると

鶯春夫と 登るは卒寿

(読売四国文芸土谷公代選)

評 二十三番薬王寺には、女・男・還暦厄坂がある。

作者は、鶯春夫さんにあやかっつて頑張っているのだ。

パツと追い 小鳥と競い 食べている

酷暑の夏の ブルーベリーを

(自薦 口腔ケアとパタカラ短歌)

令和七年八月十二日

藤井 利一

背なか丸く 白髪のが ガラス戸に

母に似てると 思った瞬間

生活音 きこゆは二軒 島の道

誰にも会わず 墓参を終える

夏が苦手な 亡母でした つくつくし

鳴いたと記した 三年日記

杉本 雅代

船大工の 庭に咲きたる 松葉ボタン

観音堂と 呼ばれし家の(中西銀一さん宅)

(初代)若ノ花と 千代の山の 大相撲

三回水入り 十七分の闘い

(勝負つかず行事あずかり。)

もし我に ピアノが 弾けたなら

弾いてみたきよ ダニーボーイを

灼熱の タクラマカン(砂漠)も かくなるや

直射日光 四十六度に

ウイグルの オアシア 哈密辺り

甘き瓜が 特産なると

シルクロード 旅する人も またラクダも

その甘き瓜で 喉潤ほのか

山際の 墓地の草木の 大掃除

墓参りする人 少なくなれど

山岡 誠次

ふたば川柳

藤井 利一 (相生川柳から)

双卒寿 十坪十色の 花咲かす

(双卒寿は昭和九年生まれの夫婦。)

ぬばたまの 闇の世を呼ぶ かえり咲き

(米国大統領トランプ氏)

バスの旅 小用タイム 多くなり

竹輪には 竹輪の仁義 狭い穴

(肉厚のちくわ。業者さんは頑張ってくれています。)

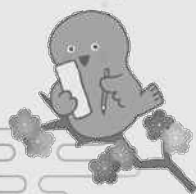
人間の 仕業で地球 煮えたぎる

(民医連いつでも元氣誌)

ぬい活も 悪くはないと ミシン踏む

(徳島新聞柳檀)

令和七年八月三日



人のうごき

令和7年・9・1

総人口 3,326人
男 1,566人
女 1,760人
世帯数 1,863戸
高齢化率 54.51% (65歳以上)
令和7年3月からの出生数合計: 2人
(牟岐町で受理した出生届3月~8月末受付分まで合計)

お知らせ

「ご結婚おめでとう」

「お誕生おめでとう」

は受付時、牟岐町に住所がある方で、掲載を希望された方を対象としています。

牟岐町外で届出をされた方で、公民館報への掲載を希望される場合は、

★牟岐町海の総合文化センター
(TEL 72-0107)

又は、

★牟岐町役場 住民福祉課
(TEL 72-3415)

までご連絡ください。

ご結婚おめでとう



田岡 佑輝 (山田)
小村 真由 (板野郡)

令和七年三月



※掲載希望届け

令和七年三月~令和七年八月分まで



むぎ公民館報 第二六二号

令和七年九月三十日発行

印刷 福山印刷株式会社

発行所 牟岐町公民館

〒0884-7210
0884-7210
0884-7210
0884-7210
0884-7210
0884-7210
0884-7210
0884-7210
0884-7210
0884-7210

徳島県海部郡牟岐町川長
牟岐町の総合文化センター内

※掲載希望届け

令和七年三月~令和七年八月分まで



中山 喜陽ちゃん



ナaira イツザティハキキちゃん

◇令和七年三月
中山 拓真・瞳
長男 喜陽(橋)
◇令和七年五月
ムグニ シュフイハキキ・ヴィキ リズキヤ
長女 ナイラ イツザティハキキ(川長)

お誕生おめでとう

